

[フランス語]

基礎フランス語

授業科目概説

初級レベルのフランス語を学びます。フランス語を聞く・読む・話す・書くための基礎的能力を身につけます。また、この能力を体系づけるために、基礎的なフランス語文法を学びます。授業では、簡単なフランス語を聞き取ったり、フランス語の短文を読んで理解したり、身近なことを話したり、短い文章をフランス語で書いたりしながら、さまざまな活動を文法として体系化していきます。あわせて、フランス語圏の文化にも触れ、言語と文化の関係についても学び、ひろく人類の言語と文化の多様性を理解する力を身につけます。修了時に CEFR の A1 レベル、仏検 4 級に合格するレベルに到達するのが目標です。

履修方法

第 1 セメスターに「基礎フランス語Ⅰ」、第 2 セメスターに「基礎フランス語Ⅱ」を履修します。週 2 回の授業で 2 単位が認定されます。年間を通じて連続した内容です。

原則として、入学時の「初修語履修希望書」にもとづいて配属されたクラスで履修します。学部を指定したクラス群とは別のクラスでの履修や、クラスの異なる組み合わせでの履修は認めません。また、「基礎フランス語Ⅰ」と「基礎フランス語Ⅱ」の間でのクラス変更は認めません。「基礎フランス語Ⅰ」の単位を修得したもののだけが、「基礎フランス語Ⅱ」を履修できます。

高等学校等でのフランス語の既修者については、既修者用クラスでの受講を求める場合があります。該当者は、まず指定された「基礎フランス語」の第 1 回目の授業に出席し、そこで教員に申し出てください。ただし、フランス語圏での生活経験からネイティブ・スピーカーに近い能力をもつものには、フランス語の履修を認めない場合があります。

展開フランス語・実践フランス語

授業科目概説

「展開フランス語Ⅰ・Ⅱ」では、中級レベルのフランス語を学びます。フランス語を聞く・読む・話す・書くための応用的能力を身につけます。あわせて、フランス語圏の文化・歴史についても触れ、言語と文化・歴史の関係についても学び、ひろく人類の言語と文化・歴史の力学を理解する力を身につけます。修了時に CEFR の A2 レベル、仏検準 2 級に合格するレベルに到達するのが目標です。

「実践フランス語Ⅰ・Ⅱ」は、フランス語の外部検定試験対策や留学指導を目的とした特別クラスです。レベルは「展開フランス語Ⅰ・Ⅱ」と同等で、「展開フランス語Ⅰ・Ⅱ」と平行して履修することも可能です。修了時に CEFR の A2 レベル、仏検準 2 級に合格するレベルに到達するのが目標です。

「展開フランス語Ⅲ・Ⅳ」では、ハイレベルなフランス語コミュニケーション能力の修得、フランス語圏の文化・歴史の理解、高度な読解能力の修得を目指します。修了時に CEFR の B1 レベル、仏検 2 級に合格するレベルに到達するのが目標です。

履修方法

第 3 セメスターに「展開フランス語Ⅰ」、第 4 セメスターに「展開フランス語Ⅱ」を履修します。週 1 回の授業で 2 単位が認定されます。

開講クラス群から各自が選択したクラスで履修します。なお、文系学部の学生を対象にしたクラスだけではなく、全学部の学生を対象にしたクラスも開設しています。

「基礎フランス語Ⅱ」（「基礎フランス語Ⅱ-1」「基礎フランス語Ⅱ-2」）の単位を修得したもののだけが、「展開フランス語Ⅰ」「展開フランス語Ⅱ」を履修できます。「展開フランス語Ⅰ」と「展開フランス語Ⅱ」の履修順序は問いません。

第 3 セメスターの「実践フランス語Ⅰ」、第 4 セメスターの「実践フランス語Ⅱ」を履修できるのは、「基礎フランス語Ⅰ」「基礎フランス語Ⅱ」の計 4 単位を修得したものです。「実践フランス語Ⅰ」と「実践フランス語Ⅱ」の履修順序は問いません。「展開フランス語」は、複数履修制度の対象です。同一セメスターに複数の「展開フランス語」を履修したり、すでに修得した科目を再び履修したりすることができます。

第 5 セメスターの「展開フランス語Ⅲ」、第 4 セメスターの「展開フランス語Ⅳ」を履修できるのは、主

に「展開フランス語Ⅰ」「展開フランス語Ⅱ」の計4単位を修得したものとなりますが、東北大学プルリリングル・スタディーズ・プログラム (TU Plus) に所属している理系学部の学生のうち既に「実践フランス語Ⅰ・Ⅱ」を修得しているものは、必ずしも「展開フランス語Ⅰ・Ⅱ」の既修得者であることを求めません。該当者は、第1回の授業時に担当教員から履修許可を得た上で、履修登録期間中に全学教育実施係へ申し出てください。

*その他

履修カードの提出

＜基礎フランス語＞

第1回の授業時に、配属されたクラスで担当教員より授業について説明を受け、教員から指示があった場合は履修カードを提出してください。履修カードは教室でのみ受け付けます。

＜展開フランス語＞

第1回の授業時に、履修を希望するクラスで担当教員から指示があった場合は履修カードを提出してください。履修カードは教室でのみ受け付けます。クラスの履修者定員のため希望のクラスで履修できない場合があります。担当教員の指示に従って履修クラスを決定してください。第1回の授業でクラスを決定できなかった者は、指定の期日までに、本人が教室で担当教員に履修カードを提出してください。

特別な配慮が必要な場合

視覚・聴覚などの問題で特別な配慮が必要な場合は担当教員に相談してください。

外部検定試験による単位認定

経済学部および理系学部(理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部)には、フランス語の外部検定試験の成績に基づいて単位を認定する制度があります。詳細は本手引きのV. 授業関連事項の「1. 外国語技能検定試験等による単位認定制度」の項を参照してください。

外部検定試験による加点

「基礎フランス語Ⅱ」および「展開フランス語」の履修期間中にフランス語の外部検定試験の級やスコア等を取得したもの、フランス語弁論大会等で入賞したものについては、その成果に応じて成績評価に反映する可能性があります。該当者は、授業最終日までに担当教員に報告し認められた場合は、合格した級等を証明する書類の写しをすみやかに提出してください。

成績評価方法

フランス語教科の成績は、「全学教育科目の成績評価等の取り扱いについて」のとおり、「成績が特に優秀であるもの」を「AA」、「成績が優秀であるもの」を「A」、「成績が良好であるもの」を「B」、「成績が可であるもの」を「C」、「成績が不可であるもの又は履修を放棄したもの」を「D」とします。

GP (AA=4、A=3、B=2、C=1、D=0) のクラス平均が 2.5 ± 0.3 となることを目安にして評価します。

再履修について

平成29年度から令和3年度までの入学者が再履修する場合は、「基礎フランス語Ⅰ-1」及び「基礎フランス語Ⅰ-2」として「基礎フランス語Ⅰ」、「基礎フランス語Ⅱ-1」及び「基礎フランス語Ⅱ-2」として「基礎フランス語Ⅱ」、「展開フランス語Ⅰ-1」及び「展開フランス語Ⅰ-2」として「展開フランス語Ⅰ」、「展開フランス語Ⅱ-1」及び「展開フランス語Ⅱ-2」として「展開フランス語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うことになります。

平成28年度以前入学者が再履修する場合は、(旧)「基礎フランス語Ⅰ」として同名の「基礎フランス語Ⅰ」、(旧)「基礎フランス語Ⅱ」として同名の「基礎フランス語Ⅱ」、(旧)「展開フランス語Ⅰ」として同名の「展開フランス語Ⅰ」、(旧)「展開フランス語Ⅱ」として同名の「展開フランス語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うことになります。

再履修の場合は、「初修語履修希望書」にもとづく配属クラス指定はありません。

「展開フランス語Ⅰ」および「展開フランス語Ⅱ」は、「展開フランス語Ⅰ」および「展開フランス語Ⅱ」のどちらでも再履修できます(外国語振替)。

「基礎フランス語」と「展開フランス語」を同時に履修することはできません。